

# 研究名：重症小児患者における PIICS の実態調査

## 1. 研究の目的

PIICS (Persistent inflammation, immunosuppression, and catabolism syndrome)は昨今の集中治療領域で認知されてきた症候群であり、持続する炎症、免疫抑制、代謝障害を特徴とします。PICUに長期入室する患者さんの中には、どんな治療を行っても具合が悪い状態が遷延するお子さんがおられ、この症候群の関与が疑われていますが、小児における研究が進んでいない現状があります。そこで今回、小児 PIICS の臨床的特徴を明らかにする研究を計画しました。

## 2. 研究の方法

- ① 研究対象：当センターにて2019年1月1日～2024年12月31日までにPICUに15日以上入室したお子さん
- ② 研究期間：倫理審査委員会承認後～2026年3月31日
- ③ 研究方法：成人領域で実証された診断基準を用いて、PIICSのお子さんと、そうでないお子さんを分類します。下記のようなデータを両群で比較し、小児 PIICS の臨床的特徴を明らかにします。

## 3. 研究に用いる情報の種類

患者さんの年齢や性別、身長・体重、入室時診断、検査データ（白血球数やヘモグロビン値、アルブミン値、肝逸脱系酵素、クレアチニン、CRP等）

※ 患者さんの氏名などの本人を特定出来る一切の個人情報  
は調査対象ではなく  
個人情報は保守されます。

※ 情報の利用開始日は2025年4月14日です。

## 4. 情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

## 5. 研究実施機関

国立成育医療研究センター

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2025年7月14日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 集中治療科 谷村 聡一郎

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7510）

○研究責任者：

国立成育医療研究センター 集中治療科 谷村 聡一郎